

1.長期成長ビジョン

新スタジオ建設により**生産性を大幅に向上させ**、より多くの作品を制作・販売できる体制へ。当社の**売上と利益を拡大させ**、**賃上げ等よりよい環境整備や、雇用創出**とともに**京都から日本のアートの文化を発信**。

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

〈基本方針〉

新スタジオにおいて最新の機材などを導入し**効率化を図り**制作数の大幅増加、**賃上げ等のよりよい労働環境の整備**を実現させる。日本のアート文化を世界に発信するための拠点にし、**雇用創出やアーティストの発掘や育成**にもつなげていく。

重点課題

①作品制作の効率化・省人化

- 最新の機材導入による効率化・省人化
- 動線の短縮と交錯の排除など、制作工程に最適化されたレイアウト設計
- 作品づくりに最適な室内環境（温度、湿度、埃対策など）を実現

②労働環境の整備

- 売上、利益を原資に継続的な従業員の賃上げを実施
- 空調や作業スペース増加、最新設備の導入、通勤面など就業環境の改善
- 京都という場所により日本文化に触れあう機会が増加、芸術的感性の強化に繋げる

③雇用創出・アーティスト育成

- 近隣には多くの芸術大学・専門学校があり、積極的に採用することで雇用創出に貢献
- 京都での「GEISAI（若手アーティスト発掘イベント）」の開催を検討、アーティストの発掘・育成にもつなげていく

会社全体の売上成長目標（直近決算期～2030年）

売上高増加額：205億円 売上高成長率：CAGR16.5% 営業利益増加額：115億円、直近決算期比 3.2倍増

外発的動機

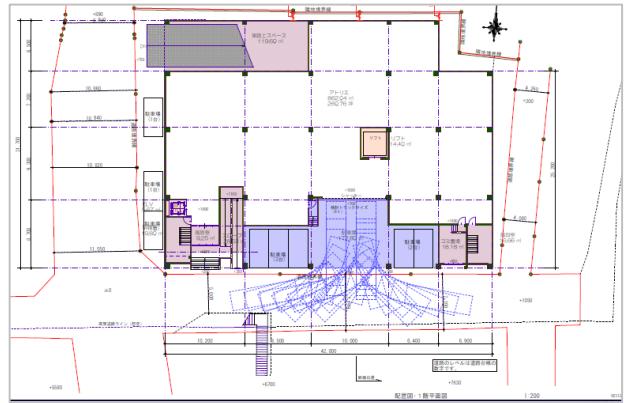
- ①村上隆のワールドワイドでの活躍
- ②京都市の「文化芸術特区」政策
- ③アート作品の投資対象としての注目度の高まり

内発的動機

- ①京都を日本の文化芸術の発信拠点に
- ②売上増加・雇用創出等による地域貢献
- ③アーティストの育成・発掘

2.補助事業の概要

現在の埼玉県の制作スタジオに加え、京都市にスタジオを設置、
生産体制の増強と生産性向上、それによる売上利益の増加を図る

補助事業の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> 現在の埼玉県のスタジオは手狭になっており、制作体制増強のために新スタジオが必要 BCP対策としても、複数拠点での作品制作の必要性がある 	事業費(補助額) 20億円 (6.3億円)															
	<p><スタジオの概要></p> <ul style="list-style-type: none"> カイカイキキ東九条新スタジオ建設設計画 住所：京都市南区東九条南河原町13-1 鉄骨造、地下1階・地上3階建 延床面積：4,018平米 																
設備投資の内容	<p><スタジオの特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> 制作スペースとなるアトリエが1階～3階まであり、十分な作業スペースで効率的に同時に複数作品の制作が可能 動線の短縮と交錯の排除など、制作工程に最適化されたレイアウト設計とする 作品の保管、発送など、制作以外の工程にも、十分なスペースを確保 作品制作にAI技術を活用、そのための最新設備を導入 作品づくりに最適な室内環境（温度、湿度、埃対策など） 最適な場所にリフトを設置、大型作品であっても制作・搬出がスムーズに行うことができる 	<p><近隣エリアの特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> 京都市は同エリア周辺を文化芸術の創造や発信の拠点と位置づけてと特区に指定、「チームラボ」によるミュージアムや、体験型アートセンター「Superblue Kyoto」も開業予定 近隣には卒業生も多く働く京都市立芸術大学があり、採用面でもメリットが大きい 															
目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準年度(2027年度)</th> <th>事業化報告3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>労働生産性 (単位：千円/人)</td> <td>64,638</td> <td>145,693 (年平均上昇率+31.1%)</td> </tr> <tr> <td>従業員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)</td> <td>6,002</td> <td>7,353 (年平均上昇率+7.0%)</td> </tr> <tr> <td>役員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)</td> <td>-</td> <td>- (年平均上昇率+7.0%)</td> </tr> <tr> <td>補助事業に係る従業員数 (単位：人)</td> <td>60</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	項目	基準年度(2027年度)	事業化報告3年目	労働生産性 (単位：千円/人)	64,638	145,693 (年平均上昇率+31.1%)	従業員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)	6,002	7,353 (年平均上昇率+7.0%)	役員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)	-	- (年平均上昇率+7.0%)	補助事業に係る従業員数 (単位：人)	60	65	
項目	基準年度(2027年度)	事業化報告3年目															
労働生産性 (単位：千円/人)	64,638	145,693 (年平均上昇率+31.1%)															
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)	6,002	7,353 (年平均上昇率+7.0%)															
役員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)	-	- (年平均上昇率+7.0%)															
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	60	65															

※京都スタジオ設立準備のため、基準年度の前年より増員を開始。直近決算期との比較では、従業員数は事業化報告3年目で19名増加。